



## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

成分名	含有量	CAS. No
水	非公開	7732-18-5
ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド	4.6%	68603-42-9
ポリオキシアルキレンアルキルエーテル	3.0%	68439-51-0
テトラデセンスルホン酸ナトリウム	1.6%	11066-21-0
ヤシ油脂肪酸アミドプロピルジメチルアミノ酢酸ベタイン	1.6%	61789-40-0
その他補助剤	非公開	非公開

## 4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い場合には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼で洗い流すこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズをしていて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。
飲み込んだ場合	水で口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。

## 5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧、二酸化炭素、粉末、泡
使ってはならない消火剤	棒状水
特有の危険有害性	燃焼ガスには一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。
特有の消化方法	消火作業は風上から行う。 火元への燃焼源を絶つこと。
消化を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	漏出時の除外などの作業は、必ず保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用すること。
環境に対する注意事項	漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	乾燥砂または土等の不活性材料で流出物を吸収して空容器に回収する。 残留分はウエスなどで拭き取る。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
安全取扱注意事項	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気を行う。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

通気の良い涼しい場所で保管すること。

施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

製品使用容器に準ずる。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度

日本産衛学会

設定されていない

ACGIH

設定されていない

設備対策

蒸気、粉塵またはヒューム、ミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具

通常の手扱いにおいては特に必要ない。

手の保護具

不浸透性保護手袋

眼の保護具

側板付き保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

長袖作業衣

---

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状

液体 (20°C、1 気圧)

色

青色透明

臭い

わずかに原料臭有り

pH

7.0± (25°C/日本食品分析センター)

凝固点

0°C以下

沸点

測定データなし

引火点

引火せず

蒸発速度

測定データなし

燃焼性

測定データなし

燃焼又は爆発範囲

測定データなし

蒸気圧

測定データなし

蒸気密度

測定データなし

比重

1.011±0.005 (25°C/日本食品分析センター)

溶解度

水に可溶

分解温度

データなし

粘度

160+mPa・s (25°C/日本食品分析センター)

---

## 10. 安定性及び反応性

反応性

自己反応性はない。

安定性

通常の手扱い条件においては安定である。

危険有害反応可能性	データなし。
避けるべき条件	データなし。
混触危険物質	データなし。
危険有害な分解生成物	データなし。

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

経口	区分外
経皮	分類できない
吸入：ガス	分類対象外
吸入：蒸気	分類できない
吸入：粉じん及びミスト	分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 2A
呼吸器感受性	分類できない
皮膚感受性	分類できない
生殖細胞変異原性	区分 2
発がん性	区分 2
生殖毒性	分類できない
生殖毒性・授乳影響	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

水生環境有害性（急性）	区分 3
水生環境有害性（長期性）	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない
残留性/分解性	生分解 91% (DOC 法 14 日間/日本食品分析センター) COD : 100mg/l (1000 倍希釈 / JIS K 0102 17.) BOD : 160mg/l (1000 倍希釈 / JIS K 0102 21.)

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

国連番号	該当しない
国内規制	
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない
陸上規制情報	消防法の規定に従う
特別安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。

---

#### 15. 適用法令

消防法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
海洋汚染防止法	該当しない
PRTR 法第 1 種指定化学物質	該当しない
PRTR 法第 2 種指定化学物質	該当しない

---

#### 16. その他情報

記載内容は弊社におきまして最善の調査に基づいて作成いたしておりますが、記載のデータや評価に関して必ずしも安全性を十分に保障するものではありません。

全ての物質には未知の有害性がありえる為、お取り扱いには細心の注意が必要です。

ご使用者様各位の責任において安全な使用条件を設定いただきますよう、お願い申し上げます。